

令和5年度

学校教育自己評価

学校法人 三友学園

専修学校 自由高等学園

## 1. はじめに

本校は、平成9年の開校以来、実社会のあらゆる場面で、適切な判断、対処ができる人材の育成を目指し、次のような目標と方針をもって教育を行ってきた。

### 【教育目標】

「入学させた生徒一人ひとりの潜在能力を引き出し、希望を実現させる」

### 【教育方針】

「全日型教育を基盤とした、凡事徹底の精神を追求する高等専修学校」

### 【魅力ある学校づくりのビジョン(目指す学校像)】

- (1) 生徒一人ひとりに寄り添い、心豊かな生徒を育てる学校
- (2) 「凡事徹底」を実践する学校
- (3) 分かりやすい授業と個別指導により、生徒が希望する進路を実現する学校
- (4) 生徒も保護者も学校に誇りを持ち、活気あふれる学校
- (5) 教職員のチーム力が発揮される学校

### 【ビジョン実現の戦略】

- (1) 一人ひとりに「関わる」
- (2) 挨拶、掃除、礼節を教師自らが示し、遅刻しない欠席しない生活基盤を確立させる
- (3) 資格取得を推進し、生徒に自信を持たせる
- (4) 3年間を見通して進路計画をたて、指導を行う
- (5) eスポーツやボランティア活動、書道パフォーマンスなどの課外活動に力を入れる
- (6) 教員の熱意、「決して諦めない」生徒を信じる気持ちと、前向きな言葉で指導する

### 【教育実践スローガン】

『凡事徹底』 ⇒ 時を守り・場を清め・礼を正す

## 2. 学校自己評価

- (1) 在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するためのアンケートを実施した。なお、個人の特定を回避するため、アンケートは無記名方式で行なった。
- (2) (1)の結果について、全教職員で検証を行ない、課題の明確化を図り、今後の改善策を検討した。

## 3. 学校自己評価の概要

### (1) 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、四者択一方式

【①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない】

で満足度の調査を行ない、数値化した。

# 令和5年度学校評価調査項目及び結果（生徒）

単位 %

	質問事項	令和5年度				肯定度	
		①	②	③	④	R4	R5
全般	(1) 学校生活は全般的に満足できている	40	41	14	5	77	82
	(2) 本校の指導は自分にとって必要なことが多い	45	36	14	5	76	81
	(3) 本校で自分の成長を実感している	47	32	17	3	71	79
授業・ 学習指導	(4) 授業の内容は充実しており満足できる	32	49	15	3	63	82
	(5) 先生は質問や相談に丁寧に対応してくれる	58	29	8	5	86	87
	(6) 授業の内容はよく理解できる	28	49	21	2	72	77
	(7) 授業内容の難易度や進度は自分の学力に合っている	39	43	15	3	72	82
	(8) 年間の登校日数や授業時間数は十分足りている	52	31	13	5	87	83
	(9) コース別授業は自分にとって有意義である	43	41	9	7	78	85
	(10) 各種検定の受験回数や合格実績に満足している	44	35	16	6	69	79
	(11) 検定対策の授業は満足できる内容である	44	40	11	5	81	84
	(12) 放課後選択ゼミの内容は自分の興味に沿ったものである	44	28	15	13	77	72
	(13) それぞれの進路の実現に向けた適切な指導が行われている	46	38	14	3	80	84
学校行事	(14) 文化祭は満足できる内容だった	41	35	15	10	79	75
	(15) 全校スポーツ大会は満足できる内容だった	50	31	15	5	80	81
	(16) 宿泊行事（修学旅行・大山合宿）は満足できる内容だった	56	23	11	10	75	79
学校生活	(17) 学校の雰囲気は明るいと思う	51	40	7	3	84	91
	(18) 他の生徒と仲良くできる環境で安心して過ごせる	45	36	13	6	87	81
	(19) 学校はアットホームな雰囲気である	42	37	16	6	70	78
	(20) 真面目な生徒が多く落ち着いた環境で授業が受けられる	28	39	27	6	73	67
	(21) 先生に対して気軽に相談できる雰囲気がある	46	32	10	12	84	78
	(22) 校舎や設備には満足している	27	39	23	11	68	66
	(23) 学校は清掃活動や環境美化に力を入れている	34	45	17	4	80	78
	(24) 社会に出るためのマナーを身に付けることができている	40	44	13	2	78	84
	(25) コミュニケーション力を向上させることができている	46	27	25	3	77	73
(26) 学校生活を通し、自信をつけることができている	35	40	16	10	74	74	

# 令和5年度学校評価調査項目及び結果（保護者）

単位 %

	質問事項	令和5年度				肯定度	
		①	②	③	④	R4	R5
全般	(1) 本校の教育には全般的に満足できている	51	41	7	1	89	92
	(2) 本校の指導は我が子にとって必要なことが多い	47	44	8	1	92	91
	(3) 本校での学校生活は我が子の成長に有意義である	61	31	6	2	90	92
授業・学習指導	(4) 年間の登校日数や授業時間数は十分足りている	50	39	9	2	83	89
	(5) 本校入学後我が子の学習意欲が向上した	38	34	22	6	78	72
	(6) 検定の受験回数・合格実績、模試の結果には満足している	35	60	5	1	85	94
	(7) 授業の難易度や進度は我が子の学習到達度に合っている	30	58	13	0	81	87
保護者	(8) 学校での学びが家庭学習への意欲につながっている	31	31	31	7	68	62
	(9) 個人懇談の実施回数は適切である	51	44	5	1	89	94
学校運営	(10) 学校ではマナーや社会のルールについての指導が十分に行われている	44	48	5	4	92	92
	(11) 進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立つように行われている	44	49	2	5	86	93
	(12) 保護者への連絡や情報公開は適切に行われている	45	44	6	6	86	89
	(13) ホームページなどで学校からの情報発信は効果的に行われている	33	51	12	5	86	84
	(14) 学校の施設・設備については十分に整備・管理が行われている	45	44	8	3	88	89
	(15) 保護者からの電話や訪問に対し学校は適切に対応している	69	28	0	3	94	97
	(16) 学校に対して気軽に相談できる雰囲気がある	61	33	1	5	92	94

## 3. 考察

### 1. 生徒アンケート結果

26項目中24項目において満足度が70%以上であった。

特に、

- (1) 学校生活は全般的に満足できている
- (4) 授業の内容は充実しており満足できる
- (17) 学校の雰囲気は明るいと思う

について80%を超える高い評価であり、生徒が安心して通える学校づくりを実現しつつあ

ると考えられる。引き続き高水準を維持する必要がある。

## 2. 保護者アンケート結果

16項目中2項目を除く14項目において満足度が80%以上であった。

また90%を越える高い評価項目の中でも特に、

(1) 本校の教育には全般的に満足できている

(15) 保護者からの電話や訪問に対し学校は適切に対応している

(16) 学校に対して気軽に相談できる雰囲気がある

の評価から、保護者との協力関係を大切にできていると考えられる。引き続き高水準を維持できるようにする必要がある。

## 4. 今後の課題

### (1) 学習指導

授業の難易度や進度については、生徒の学力差が広がる中、少人数で行う授業（習熟度別、補習、コース別）を通し、質問や相談に対応しながらそれぞれの学力や能力に沿った内容を展開できている。今後も多様化する生徒のニーズに対応した授業を展開できるよう工夫したい。また検定の合格実績についても生徒の満足度を満たす内容となっている。今後も検定取得への取り組みが生徒の自己肯定感の向上に結びつき、個々の主体的な学びに発展するよう努めたい。

### (2) 生徒指導

開校以来、挨拶や清掃に関する指導とマナー教育には特に力を注いでおり、本校の伝統として定着している。明るく、安心して過ごせる環境を保ちながら、生徒の将来を見据えて、本校のスローガンである「凡事徹底」を実現していくものとする。

### (3) 進路指導

本校入学の段階で、学習に対し不安を持っている生徒もいるため、将来を見据えて基礎から学び直すことで学力の向上を図ることを目指している。同時に、1年次から進路学習を積み上げることで、3年間を通し生徒個々の個性や能力、希望を実現するよう適切な進路指導を実施する。

### (4) 生徒のメンタルケア

カウンセラーを配置し、希望する生徒・保護者に定期的にカウンセリングを実施しているが、教員個々においても、基礎的な知識や「聴く力」を高める努力は必要である。学内外の研修を利用して教員の資質の向上を目指す。

### (5) 学校行事

既存の学校行事（大山登山・文化祭・合同合宿・スポーツ大会・特別授業・修学旅行）に対する生徒の満足度は高いレベルにあった。生徒とともに内容の見直しや行事の工夫を行い、生徒の積極性や主体性を育成しつつ達成感や満足度を更に向上させる必要がある。

### (6) 保護者との関係づくり

本校での教育方針に賛同し教育効果を実感してくれている保護者は多い。今後も三者面談、学校行事、日々の連絡等を通じて、保護者との良好な関係づくりを推進していきたい。

## 5. まとめ

本校の教育活動は、生徒・保護者・教職員間の連携によって行われるべきものであり、このようなアンケート調査の活用に基づいた検証や検討が必要と思われる。今後もさまざまな課題や問題について可能な限り生徒・保護者に情報公開をしながら教育活動を実践していく所存である。